

URのまち

あのまち このまち
歩いてみよう! その26

愛知県 常滑市 飛香台周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵なまちに育ちました。地図を手にとって歩いてみませんか?

	開発前	開発期間
飛香台	山林・田畑	2003年~2011年

「やきもの散歩道」エリア

明治~昭和の常滑焼工場や窯、煙突が数多く残るエリア

煙突のある風景



最盛期に約400本あった煙突。現在は約70本に減り、今でも使っているのは6本のみ。

上半分を壊して煙突の中へ。

鳥かごを落として...

今ではすてきなプランター!!

鳥かごを落として...

今ではすてきなプランター!!

真っ黒い建物



塩害をさけるため、工場も民家もコルタルを塗ったり、焼き板を使ったりで真っ黒!

燃料の新と石炭のすすでスズメも真っ黒!

焼き物の再利用

製品の不良品や使用済みの窯焼き用品を活用!



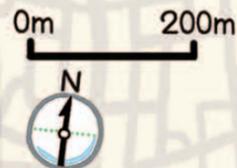
土管時代の不良品



土管焼成時の焼台(廃材)



昭和初期の不良品 焼酎瓶の不良品 何度も焼かれてとても固い焼台



窯の中にも客席が、当時の釉薬が煌めく。



共栄窯 土管工場を改装したパブ&ビストロ

駅のホームからも見えます
高台から常滑を見守る!

巨大! とこにゃん 6.3m!



懐かしい味にホックリ!



だんご茶屋

生活に必要な実用品を造り続けて約1000年!
常滑焼の歴史
現存する日本最古の窯場!

生産量日本一!!

常滑の招き猫

ふっくら2頭身のかわいいフォルムが特徴!

大きな目

大きな目 左手挙げは「人を招く」

1 平安時代末期 六古窯の父!
薪の窯で主に大型の壺や甕を作成。
海が近かったので、大きな陶器は船で日本各地に運ばれ、他の地域に多くの影響を与えた。
六古窯 常滑、瀬戸、信楽など国内6つの代表的古窯



2 江戸時代後半 朱泥急須登場!
煎茶がブームとなり、中国風の朱泥の急須が作られるように。
中国のハイレベルな技術を積極的に取り入れた。
朱泥 鉄分を多く含む粘土を焼きしめた赤褐色の陶器



3 明治時代 土管で大繁栄!
横浜や東京の都市化の際にかたく焼きしめた常滑の土管が大ヒット!
田畑の灌漑や上下水道管、建物の給排水管など用途はさまざま!



やきもの散歩道は狭い道や坂道が多いので、歩きやすい靴と服装で!
すてきなお店がたくさん!
土管工場を改装!

常滑屋

地元の料理やお酒を常滑焼の器で提供。
手こね寿司「常滑ちろし」
味も器も◎!

MADUYAMA 1Fは地元作家の陶器や雑貨のショップ、2Fはゆったりカフェ。

morrina

地元の若手作家の普段使いできる器を揃えた店。
中の茶こしも陶器製!



街中にも個性豊かな常滑焼の積み上げがたくさん! 探してみよう!

INAXライブミュージアム

UR 常滑都市計画事業 常滑西特定土地区画整理事業 常滑東特定土地区画整理事業
約71haの大住宅地!
常滑市民病院
常滑市役所新庁舎 (令和4年1月移転予定)

ミニ常滑みやげコーナーもあり!

鬼崎沖の海苔 日本酒造の日本酒

6つの館で構成!

土とやきものをテーマにものづくりの心を伝える体験・体感型ミュージアム

窯のある広場・資料館

大正時代の土管・工場の窯・建物・煙突を修復保存、公開している。
国登録有形文化財 近代化産業遺産



土管を焼き上げる様子を窯の中でプロジェクションマッピングで再現!

世界のタイル博物館

5500年前から現代まで、世界中の装飾タイルを収蔵・展示。
オリエント イスラム 日本 オランダ

古便器コレクションも!

土どろんこ館 陶楽工房

体験メニューが豊富!
光るどろんどろんづくり

モザイクアート

INAXライブミュージアム 磯村 司さん

東京で30年勤めたあとふるさと常滑に戻って来ました。常滑散歩ではぜひガイドを頼んでください! 見るだけではなくからぬ奥深い常滑史をご案内します!